



### 表彰おめでとうございます

「平成 29 年度三重県健康福祉関係功労者 感謝のつどい」において、民生委員・児童委員 功労表彰を受賞されました。おめでとうございます。

楠地区民生委員児童委員協議会 会長 原田 豊子さん

### 助け合い・つながりの広がり「黄色いハンカチ」

どーも！地域マネージャーの加藤です



災害発生時には被害状況を迅速に把握し、地域住民が助け合い、一人でも多くの人を救出する必要があります。しかし、要支援者や一人暮らしの高齢者などは速やかに避難できず、人的被害の拡大につながる場合があります。そこで、自らの安否を「黄色いハンカチ」の掲示で知らせる安否確認訓練が 11 月 12 日(日)に実施されました。

午前 8 時に地震が発生したことを想定し、防災無線のサイレン吹鳴や、防災無線拡声子局から訓練の案内放送が行われました。自治会員は決められた避難場所に集合し、「黄色いハンカチ」掲示による安否確認を行うと共に、水防・防災倉庫の点検や消防団員の指導のもと防災資機材の使用方法等の研修を受けました。民生委員は要支援者や一人暮らしの高齢者宅への声掛けを行い、状態の確認や訓練の意義を説明し、助け合い精神を育みました。消防団員は消防車で各地区を周って訓練の呼び掛けを行いました。また、楠地区市民センターでは自主防災協議会により災害対策本部が設置され、MCA 無線による情報伝達訓練、マップ及びパソコンを活用した情報の収集、各地区の安否状況の記録などに取り組みました。

訓練の後、楠地区市民センターにて、NPO 法人四日市男女共同参画研究所の坂倉加代子様を講師に迎え、「女性の視点からの避難所運営について」をテーマに防災講演会が開催されました。約 130 人の参加者が知りえない災害現場の実態や思い、避難所における女性の人権、悩み等の問題について講演して頂きました。この講演会を通じてたくさんのことを学んだことと思います。

今回の「黄色いハンカチ」安否確認訓練は初めての試みで、いつ起きてもおかしくない災害に対し地域の特性を知り、防災意識を高め、「自分の命は自分で守る」自助はもちろんのこと、「地域で助け合う」共助を活かす訓練でした。高齢化が進む中で被害を少なくするため、皆が助け合い、これまで以上に地域のつながりの広がりを感じる防災訓練であったと思います。

#### 安否確認訓練調査

#### ※問題点

	自治会 全戸数	ハンカチ 掲示全戸数	掲示割合
安否確認結果	3088	2527	82%

- 拡声器子局の体制確立、放送内容が聞き取れない
- ハンカチの掲示場所、不在宅の表示、要支援者の対応
- 繰返し訓練の定着化、地域の防災意識の高揚



声掛け・状態確認



災害対策本部



防災倉庫点検



防災講演会